

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

東北電力原町火力発電所・万葉の里風力発電所に係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立福島高等学校	
対象児童・生徒	第一学年	
事前学習	計画	<p>○書籍、インターネットを利用して事前の調査を行い、火力発電・風力発電の仕組みと、その特徴を知る。</p> <p>○見学先の火力発電所と風力発電所の特徴を調べ、疑問点をまとめる。</p> <p>○各自で見学のテーマを設定し、目的を明確にして見学に臨む。</p>
	期待できる成果	<p>両者の発電の仕組みが共通しているため、風力発電がなぜ再生可能エネルギーに分類させるのかを考えさせることができる。また、目的を明確にすることで主体的な参加を促すことができる。</p>
見学・体験学習	計画	<p>○火力発電所 火力発電の仕組みや、火力発電が占める割合と果たす役割について学び、発電設備の見学を行う。</p> <p>○風力発電所 風力発電の仕組みや立地条件などを学び、風車を見学してその仕組みを知る。</p>
	期待できる成果	<p>設備の規模を間近で体験することができる。質疑応答を通して、自分のテーマの疑問点を解決し、より高度な観点から再生可能エネルギーを捉えることができる。</p>
事後学習	計画	<p>○当日の質疑応答の結果や写真などを盛り込んで各自がレポートにまとめる。</p> <p>○班ごとにパワーポイントにまとめ、全体で発表を行い、各訪問先で得られた情報の共有を行う。</p> <p>○SSH校内研究発表会で発表を行い、保護者や地域の方々、他校との生徒達との意見交換を行う。</p>
	期待できる成果	<p>生徒一人ひとりが、今後のエネルギーの在り方について考える契機となり、意見をまとめて発表することで、学習をより深めることができる。</p>